

【伊藤総領事メッセージ 2017年12月】

11月24日、当総領事館にとって一年の中で最大の主催行事である「天皇誕生日祝賀レセプション」が日系文化会館において開催されました。日本国内では12月23日が天皇誕生日の祝日であり、宮中において祝賀行事が開催されますが、世界各地に存在する日本の在外公館では、12月23日以前であっても現地の事情等を踏まえて適当な日に天皇誕生日祝賀レセプションを開催することができることとなっています。今年のトロントは穏やかな天候にも恵まれ、400名を超える方々にご出席頂く大変な盛況で、無事にレセプションを終了することが出来ました。ご来場頂きました皆様、また開催にあたりご協力頂きました皆様に深く御礼申し上げます



この天皇誕生日レセプションは、一年に一度、任地の政財界の要人や在留邦人・日系人の代表の方々を一堂にお招きし、日本とのさらなる関係強化をアピールする機会でもあります。私自身からのご挨拶に加え、ビクター・オー連邦上院議員から来場された御来賓代表のご挨拶をいただいた他、外遊中のキャサリン・ウィン・オンタリオ州首相からご出発前に頂いていた署名入りのメッセージを式典に

おいて披露させていただきました。ボニー・クロンビー・ミシサガ市長のご発声の下、トロント市議会議員の皆様をはじめとするVIPの皆様で鏡開きも行いました。会場では総領事館の1年間の活動を振り返るスライド映像も繰り返して流され、当地における活動の多さに改めて驚かされました。



11月24日は「いい日本食の日」でもあるとのこと、レセプションのメニューも皆様に楽しんでいただける日本食メニューを目指して選びました。寿司、焼鳥、天婦羅といった定番に加え、野菜の煮物や鶏肉の唐揚げ、日本のカレーライスなど「庶民の味」も加え、デザートも抹茶味や苺味のお餅、日本のチーズケーキや餅ケーキなどにしたところ、大好評で、皆様に食事を満足に召し上がっていただけたのか少々不安にもなった次第です。



日本酒紹介ブースも出し、日本各地からのお酒を味わって頂く機会も設けました。ブースの前には長い間、多くの方々が集まっており、普段はなかなか口にすることがない日本酒の様々な銘柄を飲み比べて楽しんでいただけたようです。

日本食及び日本酒のさらなる普及は、私が総領事として力を入れて進めていきたい仕事の一つです。すでに総領事公邸には和食を供する料理人が着任し、上述のレセプションでは天婦羅とカレーライスを担当しましたが、11月28日からは公邸での接宴を始めることができました。スパークリング酒で乾杯し、懐石料理と日本酒を味わっていただく、また



和食がオンタリオ州のワインとも合うことを知っていただくために、料理人も日々頑張ってくれており、公邸にお招きしたお客様にも喜んでいただいております。食事が美味しいとお客様とお話も弾みます。今後も様々な機会を企画・活用し、日本の食文化、日本酒の文化をオンタリオ州の皆様に味わっていただきたいと思っております。

12月1日の皇室会議の結果、2019年4月30日をもって今上天皇がご退位され、翌5月1日には皇太子殿下が天皇陛下として即位されることになるようです。来年の天皇誕生日レセプションは平成では最後のレセプションになりますが、日加外交関係樹立90周年ともなる年の締めくくりとして充実した活動内容を皆様にご報告出来るよう、これからの1年間の日本とオンタリオ州の関係強化に一層努めていく所存です。